

今日は棕櫚の聖日、英語ではパームサンデー。イエス様が子ロバにのってエルサレムに入城されたことを記念する礼拝です。イエス様はこの日曜日にエルサレムに入られ、そして金曜日に十字架にかかれ、そして次の日曜に復活されたのです。

ですから今日は、そういう重要な意味を持つ日曜日です。イエス様がエルサレムに入られた時のことを、私達も紙芝居で思い描いてみましょう。

1. イエス様はお弟子さんたちにこうおっしゃいました。

「向こうの村へ行って、子ロバを連れてきてください。私はその子ロバに乗って、エルサレムに入城しますから」

そしてお弟子さんたちは、イエス様に言われた通りに向こうの村へ行き、子ロバを見つけました。

2. 「やあ子ロバくん、さあ僕たちと一緒に来てください。イエス様がお入用なのですから！」

突然のことにちょっと驚いた表情の子ロバくんですが、イエス様のお役に立つなら喜んで、という思いでイエス様のもとへと急いだことでしょう。

3. こうして子ロバくんは、イエス様を背中にお乗せして、エルサレムへと向かって行ったのでした。

人々は「ホサナ！ホサナ！」と言って、イエス様を大歓迎したのです。「ホサナ」とは、「今、救ってください」という意味なんだよ。救い主イエス様をお迎えするために、人々は「ホサナ！」と大声で叫んだんだね。

4. 私達もイエス様を心の中にお迎えするために、ホサナと高らかに賛美しよう！

ホサナ ホサナ ホサナたからかに ホサナ ホサナ ホサナたからかに

*主よあなたの みなあがめます さんびにみたされて ホサナたからかに

5. こうして人々はイエス様をお迎えしたわけですが、人々の手にはあるものが握られていました。さてここで問題です、みんなが手に持っていた物とは、いったい何だったのかな？

6. ①マラカス・・・「アミ〜ゴ！」と叫びながら歌って踊った

7. ②うちわ・・・「踊るアホーに見るアホー、同じアホなら踊らにゃそんそん」と踊りまくった

8. ③棕櫚(palm)の葉・・・それを振りながら「ホサナ！」と人々は叫んでイエス様を迎えた

9. はい、三つのうちで、人々が手に持っていた物は何だったでしょう？

①マラカス「アミ〜ゴ〜」 ②うちわ「踊らにゃそんそん」 ③palmの葉「ホサナ！」

10. はい、答えはやっぱり③でしたね。人々は棕櫚の葉、パームを振りながら、イエス様をお迎えしました。ですから今日の日曜日を「棕櫚の聖日、パームサンデー」と言うんですよ。

11. 「ホサナ、主の御名によってきたる者に祝福あれ、イスラエルの王に」 ヨハネ12:13

「ホサナ、イエス様の救いに感謝します」という思いを持って、私達も心にイエス様をお迎えしましょう。

おしまい。